10/16 二保新聞

建設関連の共同受注グループ
『燕住まいお助け隊』
燕会議所建設部会の17会員

燕商工会議所建設業部会（丸山正博部会長・百七事業所）では、十七の事業所が参加して建設関連の共同受注グループ「燕住まいお助け隊」を同部会内に設立。五日午後七時から燕三条ワシントンホテルで設立総会を開き、規約・運営規程などを承認し、会長に燕市中央通五、船山建築代表の船山和浩さん（50）が就任した。

あいさつをする会長に就任した船山和浩会長

燕住まいお助け隊は、ハウスメーカーやホームセンターの進出などで地域の建築業者の経営も厳しい中、共同受注によって受注機会を創出していこうという取り組みで、「どこに相談したらいいのか分からない」といった住まいについてのさまざまな相談への対応や、悪質リフォーム業者の被害から市民を保護することもめざしている。建設業関係での共同受注の組織は、全国にはいくつかあるというが、県内では初めて。

同建設業部会では、平成十九年度に「共同受注研究会」を発足して調査、研究をスタート。二十年度には同様の組織を立ち上げてすでに二十年以上活動している東京・町田商工会議所を視察するなどしたあと、研究会を「設立準備会」に移行させて、これまで検討を重ねてきた。

同建設業部会員に参加を呼びかけ、土木、木造建築、鉄骨建築、内装、塗装、屋根瓦工事、電気、管工事、建具、設計、施工管理の十一の工事種に合わせて十七事業所が参加。この日の設立総会には各事業所と、来賓合わせて二十人ほどが出席した。

設立総会では最初に丸山建設業部会長が設立までの経緯を振り返り、今後の事業運営には「価格や宣伝、配分などの問題も山積している。山あり谷ありと思うが、その先に楽しい、いいことがあると希望をもってこの会を盛り上げたい」とあいさつ。

続いて、準備会の座長を務めていた船山和浩さんを議長に、議事を進め、設立趣意、規約・規程、役員選出を原案通り決めた。

入会金は三万円、会費は年一万二千円。各工事の施工順番を定めており、施工した工事費用をポイントに換算して積算ボイントも勘案して施工の順番を決めていくが、施主が直接会員を指名した場合は、その会員が施工する。

初代の役員には船山会長をはじめ、副会長二人、理事六人、監事二人の合わせて十一人を選任した。

総会は三十分ほどで終わり、続いての懇親会では船山会長は「新しい取り組みで未知数ですが、市民のニーズはあると思う。機会あるごとにPRし、市民の皆さんからまず認知してもらうことがスタート。じっくり構えて誠実に対応したい。組織のメリットを生かし、お互いに協力し合って取り組んでいきましょう」とあいさつした。

会員には板金や左官がいないほか、一事業所だけという工事種別もあることから、さらに建設業部会員に参加を求めていく。役員と会員は次の通り。

会長に 木造建設 船山さん（50歳）

役員

【会長】△船山和浩（㈱）木造建築・船山建築代表・中央通

【副会長】△飯野原徳（㈱）木造建築・㈱飯野建設・殿島二△原田和広（㈱）電気・㈱協電舎・殿島二

【理事】△相場真実（㈱）電気・㈱つぼでん・小関△浅井宏（㈱）塗装・㈲浅井塗装工業・八王寺△土田征治（㈱）木造建築・建もの工房つちだ・大曲△富所寧（㈱）総合建設・建材販売・㈱とみけい・吉田春日町△星野泰助（㈱）電気・㈱星野電業社・中央通二△丸山光博（㈱）総合建設・㈱丸山組・白山町三

【監事】△川村正明（㈱）瓦店・㈲川村瓦店・三王渕△小林正明（㈱）木造建築・小林菊松建築・松橋三

会員

△大泉敏太・住宅店舗設計・㈲オーエスディ・佐渡△大橋郁（㈱）総合建設・㈱五陽建設・井土巻五△加藤登子（㈱）内装・インテリア加藤KATOH・杣木△七里知栄・建材販売・㈱七里惣四郎商店・南町五△野瀬博明（㈱）瓦店・野瀬瓦店・小古津△本間秋雄（㈱）管工事㈲本金設備・水道町三

「燕住まいお助け隊」のロゴとオリジナルキャラクター

燕住まいお助け隊設立総会